

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公表番号】特表2008-545396(P2008-545396A)

【公表日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-050

【出願番号】特願2008-512501(P2008-512501)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	14/715	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 P	21/02	C
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	14/715	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	19/04	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	35/00	

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月15日(2009.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

N-ループドメインがiTAC由来である、非天然CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 2】

N-ループドメインを除く該ポリペプチド受容体リガンドが、天然アミノ酸配列を有する、請求項1に記載の非天然CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 3】

N-ループドメインを除く該ポリペプチド受容体リガンドが、天然アミノ酸配列および非天然アミノ酸配列を有しており、該非天然アミノ酸配列は、少なくとも一つ以上の天然アミノ酸を、異なるCXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンドの相同部位由来アミノ酸と置換することにより生じた、請求項1に記載の非天然CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 4】

異なるCXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンドの相同部位由来該アミノ酸が、コンセンサスアミノ酸残基である、請求項3に記載の非天然CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 5】

配列番号3、配列番号6、配列番号9、配列番号10および配列番号11の配列およびこれらのバリエーションよりなる群から選ばれる配列であって、12～17以外の部位が、iTAC、IP-10またはMIG-CXC<sub>3</sub>ポリペプチドリガンドにおける相同部位由来アミノ酸に変化したものを含む、非天然CXC<sub>3</sub>ポリペプチドリガンド。

【請求項 6】

N-ループドメインがiTAC由来である、非天然PF4-CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 7】

N-ループドメインを除く該ポリペプチド受容体リガンドが、PF4の天然アミノ酸配列を有している、請求項6に記載の非天然PF4-CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 8】

配列番号13を含むポリペプチド配列を有する、請求項7に記載の非天然PF4-CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 9】

受容体リガンドが、リガンドの成熟型であり、N-末端メチオニンを含む、請求項1～5のいずれかに記載の非天然CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 10】

受容体リガンドが、リガンドの成熟型であり、N-末端メチオニンを含む、請求項6～8のいずれかに記載の非天然PF4-CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 11】

ポリペプチドの一つまたはそれ以上のアミノ酸が化学的に修飾されている、請求項1～5または9のいずれかに記載の非天然CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 12】

ポリペプチドの一つまたはそれ以上のアミノ酸が化学的に修飾されている、請求項6～8または10のいずれかに記載の非天然PF4-CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

【請求項 13】

非天然CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンドが、PEG付加により修飾されている、請求項11に記載の非天然CXC<sub>3</sub>ポリペプチド受容体リガンド。

**【請求項 1 4】**

非天然 P F 4 C X C R 3 ポリペプチド受容体リガンドが、 P E G 付加により修飾されている、請求項 1 2 に記載の非天然 P F 4 C X C R 3 ポリペプチド受容体リガンド。

**【請求項 1 5】**

非天然 C X C R 3 ポリペプチド受容体リガンドが、融合ポリペプチドである、請求項 1 ~ 5 、 9 または 1 1 に記載の非天然 C X C R 3 ポリペプチド受容体リガンド。

**【請求項 1 6】**

非天然 P F 4 C X C R 3 ポリペプチド受容体リガンドが、融合ポリペプチドである、請求項 6 ~ 8 、 1 0 または 1 2 に記載の非天然 P F 4 C X C R 3 ポリペプチド受容体リガンド。

**【請求項 1 7】**

請求項 1 ~ 1 6 のいずれかに記載の非天然 C X C R 3 ポリペプチド受容体リガンドをエンコードする配列を含むポリヌクレオチド。

**【請求項 1 8】**

促進剤に対して操作可能に連結されている、請求項 1 7 のポリヌクレオチドを含む発現ベクター。

**【請求項 1 9】**

請求項 1 7 のポリヌクレオチドを含むウィルス発現ベクター。

**【請求項 2 0】**

請求項 1 7 または 1 8 のポリヌクレオチドを含む宿主細胞。

**【請求項 2 1】**

請求項 1 8 の発現ベクターを含む宿主細胞。

**【請求項 2 2】**

請求項 2 1 の宿主細胞を非天然 C X C R 3 リガンドが有利に產生される条件下で培養すること、ならびに、培地中で発現させた非天然 C X C R 3 リガンドを単離することを含む、非天然 C X C R 3 リガンドを製造する方法。

**【請求項 2 3】**

請求項 1 ~ 1 6 のいずれかに記載の非天然 C X C R 3 リガンドに特異的に結合する抗体。

**【請求項 2 4】**

個人における線維症の治療または予防のための医薬組成物であって、請求項 1 ~ 1 6 のいずれかに記載の非天然 C X C R 3 リガンドを含む、医薬組成物。

**【請求項 2 5】**

個人における線維症の治療または予防のための医薬組成物であって、請求項 1 ~ 1 6 のいずれかに記載の非天然 C X C R 3 リガンドをコードするポリヌクレオチドを含む、医薬組成物。

**【請求項 2 6】**

非天然 C X C R 3 リガンドをコードするポリヌクレオチドが、ウィルスベクター内に提供されるものである、請求項 2 5 に記載の医薬組成物。

**【請求項 2 7】**

線維症が肺線維症である、請求項 2 4 ~ 2 6 のいずれかに記載の医薬組成物。

**【請求項 2 8】**

肺線維症が特発性肺線維症である、請求項 2 7 に記載の医薬組成物。

**【請求項 2 9】**

肺線維症が、既知の病因由来のものである、請求項 2 7 に記載の医薬組成物。

**【請求項 3 0】**

線維症が、肝線維症、腎線維症、心線維症および強皮症から選択されるものである、請求項 2 7 に記載の医薬組成物。

**【請求項 3 1】**

腫瘍を有する個人における腫瘍の成長を軽減する医薬組成物であって、請求項 1 ~ 1 6

のいずれかに記載の非天然 C X C R 3 リガンドを含む、医薬組成物。

【請求項 3 2】

個人における腫瘍の成長を軽減する医薬組成物であって、請求項 1 ~ 1 6 のいずれかに記載の非天然 C X C R 3 リガンドをエンコードするポリヌクレオチドを含む、医薬組成物。

【請求項 3 3】

非天然 C X C R 3 リガンドをエンコードするポリヌクレオチドが、ウィルスベクター内に提供される、請求項 3 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 4】

アルキル化剤、ニトロソ尿素、代謝拮抗剤、抗腫瘍抗生物質、植物（ビンカ）アルカロイド、タキサンおよびステロイドホルモンから選択される抗腫瘍剤をさらに含む、請求項 2 4 ~ 3 3 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 3 5】

個人がヒトである、請求項 2 4 ~ 3 4 のいずれかに記載の医薬組成物。